

# 平成 24 年度 たっち事業報告

## I 概要

### 1) 利用者動向

ひろばの延べ利用者数は保護者を含むと 135,000 人を超え、前年度より 9,000 人増えている。延べ利用者のうち 7 割、登録者のうち 3 割が府中市民となっている。相談・リフレッシュ保育・ファミリーサポートの各事業の実績については、多少の増減はあるものの、前年度とほぼ同程度の利用状況であった。

### 2) 職員・育成

常勤職員 15 名（うち 3 名が育児休業中）、非常勤職員 27 名（常勤換算 14.6 名）で運営にあたった。職員の資質向上を目的として、施設内外主催の約 50 の研修に延べ 200 名以上が参加した。

### 3) 平成 24 年度事業計画についての報告

部署を超えた体制で子育て世帯を対象とする各種講座・交流会を実施、利用者アンケートからも概ね好評を得た。市民向けボランティア講座は、基礎・ステップアップの 2 講座を実施した。

### 4) 平成 24 年度重点の動き

育児休業中の職員が 3 名生じたため、部署を超えての連携強化を図り、支援力の維持・向上に努めた。不審者・侵入者対応の向上を図るため、府中警察署員による研修・さすまた使用訓練を実施した。

## II 事業別動向

区分	成 果	課 題
総合相談	相談内容は多岐に渡っており、随時市相談員と共有・検討して対応した。関係機関との連携も積極的に行った。窓口・電話対応や身体測定時の相談に丁寧に応じ、育児不安の軽減・解消や虐待予防の視点をもって対応した。	相談体制における市との役割分担についての協議
リフレッシュ保育	地域の一時保育資源は増えているが、利用児数は平成 17 年度に事業を開始して以来最多となった。	発達障がい児に対する支援のスキルアップ
ひろば	利用者の安心・安全を保証するための環境整備に取り組んだ。ニーズに合わせて、行事の充実を図った。	環境整備・職員配置・安全点検の再構築
ファミリーサポート	障がい児のサポート件数が増えた。提供会員講習会開催の周知に市のメール配信や自治会回覧板を利用した。	活動につながる提供会員の確保
事務	新会計基準に移行し、1 つの拠点として処理できるようになった。前年度に引き続き経費節減に努めた。	本部繰入金を認めてもらうための市との協議
管理	災害時事業継続計画（BCP）を策定した。 ひろばロッカー室に監視カメラを設置した。	講座・交流会など実施事業の見直し

## III リスクマネジメント

### 1) 苦情・第三者評価

利用者からの要望や意見には、丁寧に対応した。ひろば・リフレッシュ保育・ファミリーサポートの各事業で利用者アンケートを実施した。

### 2) 感染症等予防・蔓延防止の取組

館内の清掃・遊具の消毒など衛生管理を徹底し、利用者に対しては掲示物などによる啓発を図った。

### 3) 緊急対応

急病人やけが人については、看護師を中心に職員が連携して対応した（6 件）。

### 4) 防災

緑苑との合同防災訓練や地震想定の利用者参加訓練を異なる時間帯で実施した。

### 5) 勤務管理

育児休業者 3 名がいる中で、非常勤職員の雇用、業務分担の見直しなどにより、円滑な運営ができるよう取り組んだ。また、運営上の安全を確保するため、随時勤務調整を行った。